



床を見直してみませんか

4月に入って、新年度に入ったところも多いのではないのでしょうか。設備の入れ変わりや配置の変更で、塗床の劣化に気づくということもあるかと思えます。この劣化をそのままにしていると、異物混入や思わぬ労働災害へ繋がる可能性があります。

塗床の目的は、下地のコンクリートを重量物の通過、酸、熱等から保護し、美装性を上げることです。この塗床が劣化してしまっていると、下地がダメになってしまったり、美装性が損なわれることはもちろん、その他にも様々なリスクがあります。

塗床劣化による様々なリスク

- ・床材（塗床自体）の異物混入事故
- ・割れ目に水や汚れ溜まりの発生
→劣化の拡大
→悪臭発生や虫の発生
- ・ぬめりや段差の発生による転倒事故

作業場の床の剥がれや浮き等の異常が修復剤でも補修しきれなくなったら、思い切って塗床をやり直すことも検討してみたいでしょうか。塗床をやり直すのであれば、作業場の特性に合ったものを選びましょう。例えば、人や台車の移動が頻繁にある場所には、滑りにくいような細かい凹凸がある床（図2）、水を使用するような作業場には水はけの良い床（図3）もあります。また、製造区域の清潔度によって、色分けし、表示として利用する事例もあります。新しく塗り直すことで、床が明るくなったり、今まであったぬめり等が除かれて臭いがなくなり、清潔度が上がるという副次的な効果があることも。弊社でも塗床の施工のご相談も承っておりますので、お気



図1：剥がれが生じた塗床



図2：作業通路の塗床



図3：水場の作業場の塗床

軽にお問合せ下さい。

塗床の改修はコストがかかるものですが、場合によっては適用できる公的補助金もあります。例えば「エイジフレンドリー補助金」という制度の中には、「高齢者を含む労働者の労働災害の防止のための取組に要した費用を補助する」というものがあり、作業床や通路でのつまずき・滑り防止対策としての塗床工事には適用できる場合もありますので、こういった補助金の活用も検討してみたいでしょうか。

エイジフレンドリー補助金事務センターHP
<https://www.jashcon-age.or.jp>

今月の豆知識

サクラ味の謎

桜の季節になり、お菓子売り場やカフェでは、見た目もピンクで華やかな「サクラ味」の商品が並んで、目と舌を楽しませてくれる時期になりました。このサクラ味というと実際の桜の花の味だと思う方も多いと思いますが、実はそうではないことをご存じでしょうか。

サクラ味というと独特なあの風味。お花見をすることがある方なら分かるかと思いますが、実際に桜を匂ってみても、あの香りはなく、そもそも香り自体感じません。あの独特な香りは、「クマリン」という成分によるもので、桜の花や葉を乾燥させたり、塩漬けにしたりして桜の細胞を壊すことで生成されます。花よりも葉から多く生成されるため、一般的に認識しているサクラ味は、正確には「桜餅味」ということになるのです。

この桜に含まれているクマリンですが、実は桜が生き残るための武器なのです。花や葉が散り、その細胞が壊れてクマリンが溶け出すことで、雑草などの他の植物が周囲で生育できないようにして、木を守る働きをします。そしてこのクマリンは、摂取することで動物にも作用し、ネズミ防除に使用する殺鼠剤の有効成分の原料にもなっています。

殺鼠剤に関わりのある成分だと聞くと、桜餅の葉も一緒に食べている人はドキッとすることもかもしれませんが、桜の葉に含まれるクマリンは約0.1mgと微量なので、人にとって害はありません(体重60kgの人なら1日に6mgまで、個数に直すと1日60個)。とはいえ、何事も過剰摂取は禁物ですので、適度にサクラ味を楽しみましょう。